

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岡山県旭川・吉井川流域における、未来へ引き継ぐ清流づくり（防災・安全）			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）	交付対象	津山市、備前市、真庭市、美作市、和気町、勝央町、美咲町、吉備中央町	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

下水道による都市浸水対策達成率を36%（H22）から38%（H26）へ増加させる。
 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%（H22）から46%（H26）へ増加させる。
 処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率を0%（H22）から20%（H26）へ増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）							
下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	36%	37%	38%							
処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場数（箇所） / 長寿命化計画を策定すべき処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	33%	46%							
処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策完了済み処理場・ポンプ場数（箇所） / 長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	0%	20%							
全体事業費	合計 （A + B + C）	2,883	A	2,883	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	0.0%

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
津山市、備前市、真庭市、美作市、和気町、勝央町、美咲町、吉備中央町	H28年3月 公表の方法 津山市等各HP上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-5	下水道	一般	津山市	直接	-	水セ	改築	津山浄化センター	水処理運転操作設備	津山市						355	長寿命化
A1-1-6	下水道	一般	津山市	直接	-	水セ	改築	津山浄化センター	水処理施設 初沈・塩混・計装	津山市						585	長寿命化
A1-1-7	下水道	一般	津山市	直接	-	水セ	改築	勝北浄化センター	中央監視計装設備	津山市						101	長寿命化
A1-1-8	下水道	一般	津山市	直接	-	水セ	全種	設計調査	長寿命化計画策定	津山市						12	長寿命化
A1-2-5	下水道	一般	備前市	直接	-	雨水	新設	八塔寺川左岸第3雨水幹線	雨水渠 2,000×1,700 L=0.2km	備前市						9	
A1-2-8	下水道	一般	備前市	直接	-	雨水	新設	吉永排水区	雨水渠 700×1,100 L=0.3km	備前市						45	
A1-2-10	下水道	一般	備前市	直接	-	水セ	全種	日生浄化センター	長寿命化計画策定	備前市						49	長寿命化
A1-2-11	下水道	一般	備前市	直接	-	水セ	全種	吉永浄化センター	長寿命化計画策定	備前市						75	長寿命化
A1-2-12	下水道	一般	備前市	直接	-	水セ	改築	日生浄化センター	長寿命化対策	備前市						20	長寿命化
A1-2-13	下水道	一般	備前市	直接	-	水セ	改築	吉永浄化センター	長寿命化対策	備前市						7	長寿命化
A1-2-14	下水道	一般	備前市	直接	-	水セ	改築	備前浄化センター	水処理施設	備前市						259	
A1-2-15	下水道	一般	備前市	直接	-	雨水	改築	片上雨水ポンプ場	処理能力 374m3/分	備前市						175	
A1-4-5	下水道	一般	真庭市	直接	-	水セ	全種	久世浄化センター	長寿命化計画策定	真庭市						20	長寿命化
A1-4-6	下水道	一般	真庭市	直接	-	雨水	新設	久世処理区	浸水対策計画策定	真庭市						8	
A1-4-31	下水道	一般	真庭市	直接	-	水セ	全種	蒜山浄化センター	長寿命化計画策定・実施設計	真庭市						28	長寿命化
A1-4-32	下水道	一般	真庭市	直接	-	水セ	改築	蒜山浄化センター	長寿命化対策	真庭市						47	長寿命化

A1-5-3	下水道	一般	美作市	直接	-	水セ	全種	美作浄化センター	長寿命化計画策定	美作市							26	長寿命化
A1-5-4	下水道	一般	美作市	直接	-	水セ	改築	美作浄化センター	長寿命化対策（汚泥処理施設）	美作市							132	長寿命化
A1-6-2	下水道	一般	和気町	直接	-	水セ	全種	佐伯浄化センター	長寿命化計画策定	和気町							18	長寿命化
A1-6-3	下水道	一般	和気町	直接	-	雨水	新設	和気排水区	雨水渠 L=150m	和気町							30	
A1-6-4	下水道	一般	和気町	直接	-	水セ	改築	佐伯浄化センター	長寿命化対策（水処理施設）	和気町							68	
A1-6-5	下水道	一般	和気町	直接	-	雨水	全種	和気排水区	雨水管渠実施設計	和気町							6	
A1-6-6	下水道	一般	和気町	直接	-	雨水	新設	和気排水区	雨水管渠新設工事L=166m	和気町							20	
A1-6-7	下水道	一般	和気町	直接	-	雨水	全種	和気排水区	雨水排水機場増設詳細設計	和気町							18	
A1-7-1	下水道	一般	勝央町	直接	-	水セ	改築	勝央浄化センター	長寿命化対策（水・汚泥処理施設）	勝央町							190	長寿命化
A1-7-4	下水道	一般	勝央町	直接	-	汚水	改築	勝央処理区	250～300 L=1.3Km	勝央町							100	長寿命化
A1-7-5	下水道	一般	勝央町	直接	-	水セ	全種	勝央浄化センター	長寿命化計画策定・実施設計	勝央町							10	長寿命化
A1-7-6	下水道	一般	勝央町	直接	-	汚水	全種	勝央処理区	長寿命化計画策定・実施設計	勝央町							40	長寿命化
A1-9-1	下水道	一般	美咲町	直接	-	雨水	全種	藤原雨水ポンプ場	雨水ポンプ場設計	美咲町							46	
A1-9-2	下水道	一般	美咲町	直接	-	雨水	全種	藤原排水区	雨水管渠調査設計	美咲町							18	
A1-9-3	下水道	一般	美咲町	直接	-	雨水	新設	藤原雨水ポンプ場	雨水ポンプ場土木建築工事一式	美咲町							156	
A1-9-4	下水道	一般	美咲町	直接	-	雨水	新設	藤原排水区	雨水管渠新設工事 L=1.0km	美咲町							100	
A1-8-1	下水道	一般	吉備中央町	直接	-	水セ	全種	吉備高原浄化センター	長寿命化計画策定・実施設計	吉備中央町							10	長寿命化
A1-8-2	下水道	一般	吉備中央町	直接	-	水セ	改築	吉備高原浄化センター	長寿命化対策	吉備中央町							100	長寿命化
小計（下水道事業）																	2,883	
A2 河川事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
小計（河川事業）																		
合計																		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・都市浸水区域における排水対策を進めた結果、内水氾濫被害の軽減が図られた。 ・長寿命化計画策定及び対策実施により、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化が図られた。 					
定量的指標の達成状況	指標 下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	38%	目標値と実績値に差が出た要因	地元調整の結果、事業計画が変更になり、予定していた工事が実施できなくなったため。		
		最終実績値	37%				
	指標 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率	最終目標値	46%	目標値と実績値に差が出た要因		点検調査の結果、処理場の機器が正常に稼働しており、計画策定を行う必要がなくなったため。	
		最終実績値	41%				
	指標 処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率	最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因			おおむね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	33%				
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)							
3. 特記事項(今後の方針等)							
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き都市浸水対策や長寿命化計画策定及び対策を行っていく。 							